

二十一年度総会・講演会・懇親会

一筆啓上・作左の会総会

が、去る四月二十四日(土)

西部学区市民ホームで四

十一名の出席者を迎えて

開催されました。

市川会長のあいさつに

続いて、二十一年度の事業

報告、決算・監査報告、会

則の改正、そして二十二年

度の事業計画、予算案等、

すべてが承認されました。

二十二年度の役員は次

のとおりです。

顧問 兵藤紀之

同 日名正吾

顧問 小倉敏幸

(西部小学校長)

名誉会長 本多靖司

(本多家子孫ご当主)

会長 市川 崇

副会長 多湖実松

会計 堀 誠一

理事 横山 茂

同 畔柳伽乙留

同 山田 靖

同 八田政弘

同 柴田高利

同 平松宗代

同 蜂須賀長治

同 佐野幹子

同 吉田保廣

同 加藤松太郎

同 菊川孝昌

同 石川義弘

委託理事 坂元干城

(西部小教諭)

来賓の岡崎市議会議員

柵木誠氏の祝辞をいた

いて、総会は無事終了し、

引き続き郷土史研究家

で『ふるさと六ツ美西部』

の編集長横山茂氏の講演

会に移りました。

「鬼作左と秀吉」との演

題のもと、徳川四天王の一

人である本多忠勝が出身

地の岩津に粗末な石碑が

一本立っているだけなの

に、本多作左衛門は宮地町

の犬頭神社にご承知のよ

うな誕生碑が建てられて

おり、岡崎の人々からの思

いは、むしろ大名であった

忠勝よりも強いものにあ

ることが分かります。

しかも、家康からは高力

清長、天野康景らと三奉行

の一人に取り立てられ、武

将としてだけでなくその

行政能力が認められてい

たなど、話の興味はまだま

だ尽きなかったのですが、

時間の都合で秀吉とのか

かわりまでは話が及ばず、

次の機会の楽しみという

ことになりました。

その後の懇親会では、会

員相互の親睦を深め、終始

和やかな雰囲気のうち

会を閉じることができま

した。

今年度の作左の会の充

実を期したいと思います。

(市川 崇)